

萬城の滝のウラナミアカシジミ

2012年夏、萬城の滝では伊豆市の生涯学習による生きもの観察会が行われており、6月10日のこの日も受講者12名、伊豆昆からの応援者4名が参加していた。開催の時間は10時から12時の2時間で、採取した昆虫(なんでもあり)を一旦虫かごに入れて観察(写真撮影)後に放す約束である。

観察会が始まって30分を過ぎた頃のコナラの林の中でここにこしながら伊豆昆会長の宮内さんが近づいてきた。「おい、いたぞ!」。差し出した竿丈2mほどの捕虫網の中には色鮮やかな羽化したばかりと思われるウラナミアカシジミが静かに収まっていた。

近くにいた子供たちを呼び寄せて「どうだ!きれいだらう」と虫かごに移しながら、萬城の滝にも居たのだと感慨深げである。

他の虫を探したりしているうちに終了時間の12時が近づく。最初の集合場所に引き返して、捕まえた虫たちを観察しながら一匹一匹と放す作業に入った。ところが今日の目玉であるウラナミアカシジミは籠から出ようとしなない。そのうちに誰の手だったか「あ!」、彼女の大事な翅を痛めてしまったのだ。それでもどうにか籠から出して写真を撮った。



その時、頭上の木の中に飛ぶシジミチョウを見た。これもウラナミアカシジミだったような気がする。

一方、伊豆昆メンバーの渡辺さんはこの萬城の滝周辺の整備をボランティア団体の仲間で行っている。頻繁にこの地に入出入りする渡辺さんからも「夕方になると高いところを飛んでいるウラナミアカシジミを時々見かける」との話をついた。

この年にその後見かけることはなかったがこれからの再開が楽しみである。

